



● **ドリームシスターズ**

■プロフィール

うるま市出身、沖縄生まれのうちな〜ハーフ3姉妹。沖縄を元気に！世界に愛を！をモットーに沖縄各地でイベント、パーティー、結婚式、ライブハウスで主に活動。JPOPからR&Bうちなーソングまで様々なジャンルで愛を届ける。シスターならではのリズムとハーモニーは唯一無二。



特別授業の様子

●今のお仕事につながる子ども時代を過ごしていたのですね。その頃には「周り自分との違い」を意識していましたか？

**シェリー:**アメリカ人の父と日本人の母の方針で、一般的な日本の生活スタイルで育ち、日本の教育を受けていたので、幼い頃は全く違いを意識したことはありませんでした。初めて違いに気付いたのは小学生の頃。特に外見のことを言われるようになってからです。例えば、外国人である父の絵を描くときに、今ではもう使用されなくなった「肌色」で塗るよう先生から指示されたり、隣の席の子に「お前のお父さんは茶色やし！」とからかわれたり。このような小さな出来事が積み重なってダメージが段々と大きくなり、

学校は楽しい場所ではなくなってきました。

●その辛さはずっと続いていたのでしょうか？

**シェリー:**最近ようやく克服できた気がします。というのも、「多様性」という言葉がこの数年で広まったことで、私たち自身も周りも違いを受け入れられるようになった気がします。

**パニー:**例えば、私たちはこの見ただけで英語が話せないのですが、以前は恥ずかしくて隠していたんです。でも今は、逆にそれが個性だと思われたり、親近感を持っていただけたりするようになって、オープンにするようになりました。

「車いす生活になって病から解放され身も心もずっと自由に」(仲嶺)

**仲嶺選手:**私の場合、車いすの生活になったのが大学生で、周りも大人ばかりだったので言動に傷つけられた経験がないんです。障害を意識することは、例えば階段に直面したときに「登れないなあ」と感じるぐらい。なので、車いすは特別なことではないと思えましたし、むしろ楽になった部分が相当あります。

●どんな点が楽になったのでしょうか？

**仲嶺選手:**かいようせいだいちょうえん幼い頃から潰瘍性大腸炎を



長女のシェリーさん



三女のマリーさん



次女のパニーさん



仲嶺(旧姓 喜納) 翼選手